



ドイツ・ケルン姉妹校交流事業で、ハウプトシュレ・ヘアベツカウル校を訪問しました。

TOKO JUNIOR HIGH SCHOOL

東光

第6号

『学び合い』：「誰一人見捨てない」「みんな幸せになる」Think globally, Act locally.

福岡市立東光中学校 平成30年度学校通信

世界と自分を見つめ、行動を起こそう

校長 高木 徹

2年前から「2期制」を導入し、10月15日より後期が始まりました。爽やかな秋の訪れとともに、生徒会役員や各学級の組織も変わり、職員も生徒たちも新たな気持ちで学校生活を再スタートさせました。

後期の始業式では、今年の学校テーマに掲げている「グローバルスクールについて考えよう」というテーマで、私から全校生徒にプレゼンテーションを行いました。「SDGs」という言葉をご存じでしょうか。2015年に国連で採択され、世界中で2030年までに達成をめざす17の目標「持続可能な開発のための目標」(Sustainable Development Goals)の略語で、最近時々テレビなどでも取り上げられるようになってきています。貧困、紛争、気候変動、人権・環境問題など、世界はこれまでに経験しなかったような数多くの深刻な課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうと言う研究者もいます。そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「SDGs」です。生徒たちには、その説明のためにユネスコで作られた7分ほどの動画を見てもらいました。音声は全部英語ですが、熱心に視聴していました。「SDGs」のキーワードは本校の『学び合い』のキーワードと同じ「誰一人取り残さない」です。本校の『学び合い』の活動が世界をこれからも安定して発展させていく力になることを話しました。世界のことをしっかりと理解しながら、学校や地域で自分にできることを行動にしてほしいと思います。また、「世界を見つめる」ということでは、9月のドイツ訪問と現地校とのインターネットを通しての交流や10月

のベトナムから迎えた画家レ・ミン・チャウさんの講演会は生徒にとって、とても有意義なものになったことと思います。今後ともこのような国際交流を盛んにさせたいと考えています。

後期は、生徒たちに「自分を見つめる」ことにもぜひ取り組んでもらいたいと考えています。それが自己管理能力を育てるための取組「Toko Student Planner」プロジェクトです。簡単に言えば、毎日の起床と就寝、学習時間などの記録を習慣化して、自分の生活を振り返り、改善していくことです。本校での近年の様々な生活習慣調査の結果を見ると、時間の使い方が自分でコントロールできていない(たとえば、スマホを毎日3時間以上、学習時間は30分未満、夜寝るのは12時以降など)生徒がとても多いことに驚かされます。これでは、学力の向上は望めませんし、将来大人になっても自律できないことが心配されます。自分の生活を記録し、自分の生活習慣や時間の使い方を振り返り、小さな目標をたて、それを小刻みに達成(行動)していくこと(ビジネスではPDCAサイクルと呼ばれています)で、この現状を改善したいと思います。特に、3年生は、卒業後の進路決定に向けて、株式会社NOLTYプランナーズ様より、全員に学生専用のスケジュール手帳をいただき、毎日の記録化に取り組んでいます。1、2年生は一定の期間を決めた取組を定期的に行いますが、効果が出れば、来年度から全校の取組にしたいと考えています。

原稿を書いていると、秋風に乗って、合唱コンクールに向けた放課後の練習の歌声が聞こえ始めました。27日は、ぜひ東福岡高校の会場へお越しください。すばらしい歌声を聴きたいだけです。お待ちしております。

「ドイツ・ケルンを訪問して」

3年 安川 ひかる

私はドイツに行く前、不安な気持ちでいっぱいでしたが、ホストファミリーのみなさんは、笑顔で温かく私たちを迎え入れてくれました。日本の折り紙やお手玉と一緒に遊んだり、積極的に話したりして仲良くなることができ、とても楽しかったです。

姉妹校交流で訪ねた学校には、いろいろな国の人たちがいましたが、みんな元気で積極的に話しかけてくれました。日本の漢字に興味があり、名前をカタカナで書いてあげると喜んでくれました。

交流を通して英語で話すことの楽しさに気づき、以前よりも英語が好きになり、自信もつきました。

ドイツで見たもの、触れたもの全てが貴重な体験になりました。ドイツには、よいところがたくさんあると思いました。この姉妹校交流事業で学んだことをいろいろなことにつなげていきたいです。



◇「東光中学校 姉妹校交流事業」今年も代表生徒が ドイツ・ケルン に行きました。

9月23日(日)～28日(金)の日程で、今年も姉妹校交流事業「ドイツ・ケルン訪問」を実施しました。17名の代表生徒が「リーベフラウエンシューレ・ギムナジウム校」と「ハウプトシューレ・ヘアベツカウル校」の2校を訪問し、福岡の街や伝統文化を紹介したり、ドイツの学校生活の様子を聞いたりするなどの活動を行ってきました。本校で日頃取り組んでいる『学び合い』学習をさらに発展させ、様々な人々とのコミュニケーションを通して、国際人としての素養を身に付ける機会としてほしいと思っています。



ドイツの生徒のみなさんとは英語で会話をし、お互いの学校のことやドイツと日本の文化や習慣などについて交流を深めました。



福岡の街や文化、東光中についてプレゼンテーションしました。とても興味深くみてもらいました。



昨年に引き続き訪ねた「ハウプトシューレ・ヘアベツカウル校」では、姉妹校交流の締結文書に署名しました。



訪問したドイツの学校と東光中の教室をネット回線をつなぎ、代表生徒がお互いに質問を行う交流活動を行いました。



帰国後、派遣生徒による報告会を行いました。ドイツで体験したことや感じたことなどを全校生徒に報告しました。



今回の「ドイツ・ケルン訪問」は、地元新聞でも紹介されました。

◇「租税教室」を行いました。

10月11日(木)、2・3年生の社会科の学習として「租税教室」を行いました。「博多法人会」の方をゲストティーチャーとしてお迎えし、グループで課題に対して活発にディスカッションすることができました。税金の学習を通して、自分たちの生活を見つめながら福祉のあり方考えるなど、とても充実した時間となりました。



◇レ・ミン・チャウさん 絵画講演会

10月18日(木)、ベトナムの画家レ・ミン・チャウさんが東光中に来校されました。手足に障がいをもつチャウさんは、筆を口にくわえて絵を描く画家で、生徒たちに「夢を追うことの大切さ」について話をいただきました。また、実際に絵を描いていただきました。



◇合唱コンクールに向けて・・・

10月10日(水)、合唱コンクールに向けて開始式を行いました。今年のスローガン「夢奏～夢限の響き～」のもと、全校生徒で協力してよりよい合唱コンクールをつくりあげようと、実行委員から呼びかけをし、各ブロックの団結を深めることができました。10月27日(土)当日は東福岡高校講堂で10:00から開催します。ぜひご来場ください。



Teacher's Commentary

「ドイツ・ケルン姉妹校交流を終えて」

ドイツ・ケルン姉妹校交流は2年目となりました。派遣生徒17名は、日頃の学習の成果を生かし、交流校で披露する歌やプレゼンテーション等の準備をしっかりと行って出発しました。

ドイツの学校と東光中の教室をネット回線をつないだ交流の時間は、大いに盛り上がりました。この交流を通して、「自分もドイツに行きたい!」という気持ちを強くもった1・2年生は、既に来年度の派遣への参加希望を伝えにきてくれています。

本年度の東光中学校の学校経営方針「みんなでグローバルスクールを創ろう」は生徒たちに浸透し、着々と実現に向けて進んでいると日々感じています。英語科担当教員として、グローバルな視点をもった生徒の育成に今後も取り組んでいきたいと考えています。

英語科 守部 尚

今後の予定

- 10月24日(水) 三校特別支援学級交流会
- 27日(土) 土曜授業(合唱コンクール) 会場:東福岡高校 講堂
- 11月 1日(木) 3年実力テスト 学校公開週間(～11/8(木))
- 2日(金) 2年修学旅行説明会・3年進路説明会
- 7日(水) 夢学級ファイナルピック
- 9日(金) 福岡市教育委員会教育センター研究協力事業 授業公開・協議会
- 10日(土) 全市一斉土曜授業
- 15日(木) 1・2年後期中間考査・3年学年末考査
- 16日(金) 1・2年後期中間考査・3年学年末考査 避難訓練
- 21日(木) バレーボール大会
- 22日(金) 3年英語チャレンジテスト